

「DMAT・DPAT 隊員のメンタルヘルスチェックシステムに関する研究」に参加された方へ

東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野/精神看護学分野は、DMAT (Disaster Medical Assistance Team) 事務局と DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team) 事務局と協力し、「DMAT・DPAT 隊員のメンタルヘルスチェックシステムに関する研究」を実施しています。

この研究のご参加をくださいました方で、この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の連絡先まで 2023 年 10 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【研究課題】

DMAT・DPAT 隊員のメンタルヘルスチェックシステムに関する研究（審査番号 2019164NI-(6)）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野/精神看護学分野
研究責任者 西大輔・精神保健学分野・教授
役割 研究計画・連絡調整・調査実施・統計解析・論文執筆

【共同研究機関】

研究機関 ①独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局
②厚生労働省委託事業 DPAT 事務局
③コロンビア大学
④チリ大学
研究責任者 ①小井土雄一、河嶋譲 ②池田美樹 ③Ezra Susser、Franco Mascayano
④Ruben Alvarado
役割 ①②研究参加者リクルート・研究助言・統計解析・論文執筆
③④国際共同研究の倫理審査の承認、各国の調査データの集計・統計解析、論文執筆

【研究期間】

承認日～2025 年 3 月 31 日まで

本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

本研究に 2020 年 10 月以降の調査に一度でもご回答をくださった方。

【研究目的・意義】

本研究は、以下の 4 つを目的としております。

- ① DMAT・DPAT 隊員も救援活動に伴うストレス等から派遣後にメンタルヘルス不調になることがあるため、DMAT・DPAT 隊員のメンタルヘルスの状態を平時からチェックするシステムを構築する。メンタル不調となった隊員にフィードバックを行いストレスケアにつなげる。
- ② 隊員を継続する意思に影響を与える要因を検討する。
- ③ 過去の派遣経験から、派遣後のメンタルヘルス不調に影響を与える要因についても検討する
- ④ パンデミックの状況下で医療従事者のメンタルヘルス、社会的課題を調査し、国際的に比較

を行う。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

調査をお願いする方は、日本の DMAT および DPAT 隊員の方々に、EMIS やメーリングリストにて研究協力をお願いをしております。参加に同意いただける場合は、メールにお送りした本調査用の自記式質問票（WEB 形式）の URL にアクセスしていただきます。質問票の結果からお気持ちの状態が本調子でないと考えられる方には、こちらからご本人へのフィードバックのご連絡を差し上げることを予定しています。

提供いただいた試料・情報は、共同研究機関であるチリ大学およびコロンビア大学と共有し、解析を行います。研究対象者の皆さんのお名前等が、他機関に伝わることはありません。なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【研究協力の任意性と撤回の自由】

この研究にご協力いただくかどうかは、研究参加者の皆様の自由意思に委ねられています。本研究は今後数年間、年 1 回の定期的な調査および大規模な災害等の後の臨時の調査を実施する可能性がございます。なお、本研究の質問に回答されることで、一部の方は過去の救援活動時のお気持ちを思い出される可能性があります。思い出すことが非常にづらい場合にはいつでも回答を中止できます。もし同意を撤回される場合は、連絡担当者にご連絡いただき同意撤回書に署名しご提出ください。なお、研究にご参加いただけない場合にも、あなたの不利益につながることはありません。ご本人の申し出があれば、可能な限り収集した情報・データ等及び調べた結果を廃棄します。ただし、同意を撤回されたとき、すでに研究結果が論文等に公表されていた場合等は、廃棄することができませんのでご了承ください。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報やデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。あなたのデータは符号により誰の情報・データ等かが分からないようにした上で、研究担当者のみが使用できる東京大学大学院医学系研究科精神保健学・看護学分野内のパスワードロックのかかるパソコンまたは USB メモリで厳重に保管します。なお、国際共同研究 HEROES 調査のご回答データは個人が特定できないデータをチリ大学・コロンビア大学に共有をいたします。チリ大学・コロンビア大学に共有されたデータはチリ大学・コロンビア大学内に設置されたサーバーにて管理するデジタルプラットフォームに厳重に保管されます。この研究に利用する試料・情報は共同研究機関に加えて、個人情報が分からないようにしたご回答のデータを申請があった際にはチリ大学・コロンビア大学を経て HEROES 参加国の約 20 か国に共有される可能性があります。本研究では、外国にあなたの情報が提供されることがあります。外国では個人情報に関する法律が日本と異なり、日本より規制が厳しくない場合があります。その場合でも、あなたの情報は、あなたの同意その他適用法令に基づく適切な管理体制のもと提供先に提供されます。なお、外国における個人情報の保護に関する制度に関する情報については、以下をご参照ください。

[https://www.ppc.go.jp/personal info/legal/kaiseihogohou/#gaikoku](https://www.ppc.go.jp/personal%20info/legal/kaiseihogohou/#gaikoku)

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、データを消去することで廃棄します。参加者より同意を得られた際には研究終了後も引き続き保管いたします。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

試料・情報の管理責任者

所属：東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野/精神看護学分野

氏名：西大輔・精神保健学分野・教授

この研究は、東京大学医学部倫理委員会および災害医療センター倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長および独立行政法人国立病院機構災害医療センター院長の許可を受けて実施するものです。この研究の資金源は、厚生労働省行政推進調査事業補助金による助成を受けています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年9月14日

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：西大輔 連絡担当者：浅岡紘季

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 精神保健学・精神看護学分野

Tel: 03-5841-3364 (内線 23522) Fax: 03-5841-3392

hasaoka@m.u-tokyo.ac.jp